



のっぽの手

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル
 TEL 024(528)1211 FAX 024(528)1218
 E-mail center@f-npo.jp
 URL <http://www.f-npo.jp/>

会員参画型のNPOセンターに 7.12定期総会を終えて



本センターは今年度、新しい段階に入ったといえます。東北地方で3番目、福島県では最初の「認定NPO」になったからです。ここに至るまでにはきわめて厳しい国税庁による審査がありました。認定されることにより、本センターへの寄付が、課税の際に所得控除の対象になります。寄付を拡大し、それをファンドにして何がこれからできるか、社会の期待にいつそう応えられるだけの実績を示さなければなりません。

いま、日本社会は非常に危うい状況になっているという思いを、私はいよいよ深くしています。財政危機を背景にして、公共サービスの縮小再編が急速にすすんでいます。公務員の権威は地に落ちており、このところは教員採用をめぐる不正が暴露されて、教師の信用もガタ落ちです。これではとても増税どころではないと、政府はいよいよもって歳出削減、公共サービスの縮小に走っています。社会全体が「大萎縮」への道を歩んでいるように見えます。こんな社会で人々が人間らしく生きるために、民間非営利組織の果たすべき役割はいよいよ大きくなっているに違いありません。

認定NPOになったとはいえ、本センターは、中間NPOとしてまだ全く未熟な段階にあります。常勤の理事がおらず、非常勤理事が互いに補い合って四苦八苦です。職員がその能力を存分に発揮できるような、働き甲斐のある職場を作りえていると自信をもって言うこともできません。

今年度の活動方針の柱は「会員の参画」です。会員が受身の「お客さん」になっているのではないかと。会員の皆さんが、本センターを通じて、社会貢献を行っていることに確信を持てるような、新しい事業の展開ができないかと考えています。セミナー類の内容や開催方法にも工夫が必要ですし、出版事業も手がけたいと思います。会員の皆さんからの積極的なご提案を歓迎します。

(理事長 清水 修二)

7月12日 チェンバおおまち



NPO法施行10年の節目として

49回NPO研究会の報告 6月22日(日) コラッセふくしま

テーマ：NPOは社会変革をなしえたかーNPO10年の決算書

話題提供：田中尚輝氏（NPO法人 地域創造ネットワーク・ジャパン 常務理事）

NPO法が施行されて10年を迎えようとしております。この間、数多くのNPO法人が、県内においても、もちろん全国においても誕生し、組織的な市民活動を展開するようになってきました。福島県においては約460、全国では約35,000のNPOが活動しています。今回の研究会の趣旨は、この10年という節目を迎えるにあたり、NPOの先導役を務めた田中尚輝流の見方をすると、この10年間のNPO活動の通信簿はどのような評点になるのか、当初想定された通りに社会変革は順調に進んでいるのかどうか、率直なご意見を伺って意見交換をしてみたいということでした。

田中さんの評価によると、全国で数多くのNPOが活躍することになったことから、とりあえずNPO法施行による数の上でのインパクトについては評価に値するであろう、との発言がありました。しかしながら、第1のセクターである行政、第2のセクターである企業、そして第3のセクターである市民活動団体・NPOというようにセクター論でみていくと、期待された第3のセクターが、第1、第2のセクターと肩を並べて対等に渡り合えるようになったかという、必ずしもそうはなっていない。したがって、実質の評価は100点満点で60点程度になるのではないか、という見解でありました。たしかに福島県の状況を見渡してみても、NPOの平均の事業規模は小さくとどまっており、行政や企業の助成金や補助金に依存する割合はまだ相対的に高く、残念ながら市民の力を見せつけるシーンにもあまり出会っていないのが現況ですから、中間支援NPOも頑張らなければいけませんね。

(星野 珉二)



今年も開催『インターンシップ2008』

今年も昨年に引き続きまして『インターンシップ2008』（昨年は2007）の事業を行うことになりました。

この事業は東北労働金庫様の財政的他の支援を受けまして、東北6県の中間支援NPOが連携して行う事業です。6月、7月と仙台で打ち合わせの会議を行っています。

その内容は東北労働金庫様の会員（各企業の社員の皆様の中で、退職間際の方々）を主な対象にしまして、ボランティア活動を体験する機会を提供しようとする事業です。

パンフレットを作成し、その広報活動は主に東北労働金庫様が行い、県内のNPO団体（今回は8団体）との紹介作業を当ふくしまNPOネットワークセンターが行います。

昨年は東北地域を中心にしまして、6団体様の受け入れ協力を得ましたが（昨年は体験実績は“0”）今年も東北労働金庫福島県本部様の意向もありまして、受け入れ協力のNPO団体を県内全体に広げてお願いをいたしました。結果、8NPO団体様（下記）の協力を得られることになりました。

いわゆる団塊の世代を対象にして、主に退職後にご活躍いただく場を紹介、提供しようとする事業です。現在はその8つの団体様の紹介パンフの作成中です。8月末頃には東北労働金庫の各支店、その他の、いろんな場所に置いて広報活動を行うつもりですので、目に留まり手に取って頂けたらうれしく思います。

(齋藤 健)

協力NPO団体様。（敬称省略）

- 1、りょうぜん里山がっこう（伊達市）
- 2、子育てさぽーとくらぶ（本宮市）
- 3、寺子屋方丈舎（会津若松市）
- 4、ザ・ピープル（いわき市）
- 5、MMサポートセンター（南相馬市）
- 6、カルチャーネットワーク（白河市）
- 7、チャチャチャ21（須賀川市）
- 8、ふくしまNPOネットワークセンター（福島市）

新理事紹介 ～2名の理事が加わりました



持ち味を生かして

理事 北村 寧

去る7月12日の通常総会で理事に選任されました北村寧（やすし）でございます。定年退職（福島大学行政政策学類）を目前にした3月下旬、清水理事長、星野理事からお誘いがありました。定年後の過ごし方として社会とのつながりを失わないことが大切と考えておりましたので、何かお役に立てたらと思って入会させていただいた次第です。

私の専攻は社会学で、大学では「社会構造論」という科目を担当してきたのですが、「市民社会の構築」という観点からNPOに関心をもってきました。ここ数年、後期の授業は「格差社会と市民社会」というテーマで行っています。

「バブル経済」の崩壊以降、長期化する不況と市場万能論の高まりの中で、「格差社会化」が進行しました。こうした傾向に歯止めをかけ、人間の尊厳・人権・人間的連帯を基礎とする社会のあり方（=市民社会の構築）が求められています。この点で、非営利を旨とし、共通の目標を達成しようとする人たちの自由で自発的な組織であるNPOが量的にも質的にも発展していくことは大きな意義があると考えております。

NPOの実際の運営には「きれいな事」ではすまない様々な困難な問題があろうかと思えます。私のような書斎派タイプの間人がどれだけやれるかわかりませんが、私なりの持ち味を生かして、大いに勉強しながら皆さんとともに歩んでいきたいと願っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



『美德とは、勇気』

理事 齋藤 美佐

真夏日が続くある夜、チャンネルをザッピングしていた手がNHK教育テレビに映っている、ある女性のアップで手が止まりました。ハリー・ポッターの著者“J.K.ローリング”でした。ハリー・ポッターは33ヶ国語以上で翻訳され、シリーズの完結編「ハリー・ポッターと死の秘宝」（第7巻）が発売されると、1億6000万部を越えるといわれています。その完結編の発売開始までを追ったドキュメンタリー番組でした。

彼女の苦難の日々をふり返り、物語に自身の経験を取り入れたエピソードなどが語られていました。中でも、私がとても印象に残ったのは、番組冒頭で矢継ぎ早の質問に対する、J.K.ローリングの歯切れのよい答えでした。『Q.美德とは？=A.勇気 Q.恥ずべき行為は？=A.偏見 Q.未来は？=A.あたたかい家庭』。シンプルでありながら、潔い返答で、彼女らしさが滲み出ていました。

さて、前置きがながくなりましたが、7月12日の総会において「ふくしまNPOネットワークセンター理事」に就任いたしました。J.K.ローリングのように、差別や偏見を持たず、わずかな勇気と前向きな姿勢で、NPO活動と運営に携わっていく所存です。また、あたたかい家庭も実現したいので「時々ゆっくり休ませてください」という、ささやかな希望をお伝えしまして、ごあいさつとさせていただきます。若輩者ですが、どうぞ、よろしくお願い致します。



ふくしま情報ステーションから

◆ 『76.2で会いましょう』 ◆

情報ステーションでは、ラジオのFMポコで、毎週金曜日、午後5時45分～55分の情報番組をととして「地域やコラッセのイベント情報」をふくしまNPOネットワークセンターの提供でお伝えしています。行政や団体が取り組んでいる、啓蒙・啓発の話題も意識的にとりあげるなど、この放送が地域づくりの一助になればと願い、受話器を握りしめて生出演をしています。金曜日の夕方は周波数FM76.2MHzにぜひ合わせてください。皆さんの情報をお待ちしています。

※詳細は <http://www.machi-fukushima.jp/>

または下記までお問い合わせください。
TEL 024-525-4020 E-mail: info@machi-fukushima.jp



福島市市民活動サポートセンターから

◆ 簿記入門の本 入りました ◆

新しい貸出図書が入りました。楽しいイラストでNPO会計もサポート。楽しく簿記が学べます。ぜひご利用ください。

- ①「まずはこの本から！はじめての人の簿記入門塾」
- ②「ひとりで学べる簿記入門」



福島市市民活動サポートセンター
TEL 024-526-4533 / E-mail: f-ssc@bz01.plala.or.jp

「のっぽの手」では誌面充実の為、理事、職員はもとより、会員様、各団体様よりの投稿をお待ち申し上げております。当センターへのご意見、日頃の活動に関する事、はたまた「よもやま話」などございましたらぜひ下記宛にお寄せいただければと思います。よろしくお願いたします。

ふくしまNPOネットワークセンター事務局 <http://www.f-npo.jp/>

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビルB1

TEL 024-528-1211 FAX 024-528-1218

E-mail

center@f-npo.jp

福島市市民活動サポートセンター <http://www.f-ssc.jp>

ふくしま情報ステーション <http://www.machi-fukushima.jp/>

